

令和 5 年度教育課程について

1 学校の教育目標

自分から **か**んがえ **す**なおに **か**んばる 春日っ子の育成～温もり～



すべての春日っ子が安全に、安心して生き生きと活動する温もりのある学校

《3つの教師像》～まなび～「チーム春日」「継続と徹底」

- ①目標と課題を共有し、共通実践に基づいた教育活動を展開する教師
- ②「啐啄同時」の精神で春日っ子を見守り、褒め、励ます教師～即時対応～
- ③「教育のプロ」としての自覚と誇りをもち、授業で勝負する教師
～落ち着いた学習環境で児童が「**学びたい**」「**分かりたい**」と思う授業づくり～

《家庭との連携》～しつけ～ 早寝早起き、家庭学習、手伝い等

《地域との連携》～育てる～ 地域の教育力、見守り、地域への参画等

家庭（保護者）で「しつけ」、**学校**で「学び」、**地域**で「育てる」

2 本校の教育の特色

か	んがえる子【○よく聞き、気づき、考えて行動 ○小集団で伝え合い・深め合い ○進んで読書】
す	なおな子【○正しい言葉遣い・あいさつ ○周りのことを考えた行動・マナー ○ものを大切に作る心】
が	んばる子【○目標に向かってチャレンジ ○一人一役、進んで行動 ○楽しく運動、残さず給食】

基礎学力の定着と教育活動の充実を図る学校

- 春日小の学習規律「学びの約束 **か す が**」を作成し、「継続と徹底」をキーワードに共通実践により児童の学習・生活規律の定着を図る。
- 「学びたい・分かりたいと思う課題提示」「必然性のある伝え合い・深め合い」「思考を促す発問」を仕組んだ授業研究に全教職員で取り組み、児童が主体的に学ぶ授業づくりを展開して、生きる力の育成と学力の向上をめざす。
- 「家庭学習の手引き」のもと、取り組ませたい内容等を明らかにして家庭学習の充実を図る。
- 読書活動を充実させ、読書から得る知識や文章を読む技能を高め、情操面を耕し豊かにする。

互いに思いやりの心を通わせ、温もりのある学校

- 道徳の時間と各教科・特別活動・総合的な学習の時間、人権学習との連携を図りながら、指導内容の充実・改善を図り、人権意識を高め、温もりの心を醸成する。
- 「温もりのある学校」「いつもきれいな学校」「落ち着いた学校」を合言葉に、優しい言葉遣いや自分から挨拶、廊下の歩き方、整理整頓等、常に周囲の人やものを意識しながら、すべきことに気づき、考え、行動できる児童を育成する。
- 生徒指導協議会・教育相談会で情報交換し、PDCA サイクルによる生活指導・生徒指導を展開して、児童の自己指導力を高める。

目標に向かってあきらめず、たくましくしなやかな心と体を育む学校

- 常に、目標を持たせ、失敗を恐れずチャレンジすることを誉め励ましながらたくましくしなやかな心を育む。
- 交流活動や体験活動を通して、自ら学び、豊かな人間性や社会性、たくましい実践力を持ち、心身共に健やかな児童を育てる。
- 児童の主体的な活動の場を保障する係活動や学校行事、委員会活動等を仕組み、認め称賛しながら主体的・実践的な力を育み、自己肯定感、自己有用感の醸成を図る。

共通目標、共通実践に基づいた組織的教育活動に取り組む学校

- 月に1度の運営委員会や職員会議、専門部会、そして、学校評価等を通して、実践を踏まえた反省のもと、常に改善を加えながら信頼される学校づくりを行う。
- 学年部会と専門部会をマトリクス型に整理し、それぞれの部会内で職員が学び合えるシステムを構築し、より良い教育活動へと高めていく。
- GIGA スクール構想のもと、一人一台端末を積極的・効果的に活用し、予測不可能な未来社会を自律的に生きるための資質・能力を育成する。
- 未来を担う子どもたちを「誰一人取り残さない社会の実現」というSDGs（持続可能な開発目標）の理念を意識し、教育活動を通して、その理解とともに実践力を身に付けさせる。

地域の教育力を生かした教育活動を取り入れ、郷土を愛する心を育む地域に開かれた学校

- 教育活動の基盤を整理した「春日スタイル」を発行し、地域・保護者と共通認識をもってよりよい教育活動を探る。
- 学校教育目標に基づいた学校経営案、授業参観や学校行事等の教育活動、児童の活動の様子を学校ホームページ等で公開し、学校への評価をいただきながら今後の運営に生かす。
- 地域との連携を図り、地域の教育力（人物・歴史・自然・文化等）を活かした豊かな教育活動を教育課程に組み入れ、「志」を高める教育の基盤となる「郷土を愛する心」を育む。
- 児童の育ちと学びを保障するために、就学前・小学校・中学校間の連携を促進する。

3 教育計画

(1) 本年度の教育の重点

児童が「学びたい」「分かりたい」と思う授業づくりに努め主体的な学びができる児童の育成

- 基本的な学習習慣や学習規律、「学びの約束『かすが』」を身に付けさせるとともに、「子どもが輝く春日っ子授業スタイル【①課題把握 ②自力解決 ③深め合い(小集団活動、全体活動)④振り返り】」を見直しながら、わかる授業の実践に努め、学習意欲を喚起し、学力向上をめざす。
- 児童が知りたい、学びたい、やってみたいと思う「課題提示の工夫」、学びの必然性を抱かせて思考力・判断力・表現力を高める「伝え合い・深め合いの場の工夫」、児童の思いや考えを深める「発問(ゆさぶり)の工夫」に力点を置いた授業づくりに努め、主体的・対話的で深い学びを実現する授業を通して、能動的に学び続ける児童の育成をめざす。
- 一人一台パソコンを積極的に取り入れた授業実践を積み重ね、ICT機器を適切・安全に使いこなす力を高めさせ、主体的に思考・判断・表現できる力、協働的に課題解決に向かう力を育成する。
- 読書で疑似体験をしたり、知識を増やしたりできる等の「読書」の良さを児童に実感させ、図書館司書と担任とが協力して、多様な本に親しむ活動を仕組み、読書習慣を身に付けさせる。

周囲の人やものを大切にできる温もりのある学級・学校づくり

- 学校の生活習慣では「正しい言葉遣い」「自分から挨拶」「周りのことを考えて行動」「目標に向かってチャレンジ」を重点項目とし、生徒指導協議会・教育相談会において、全教職員の共通理解に基づく教育活動をPDCAサイクルで展開し、落ち着いた学習環境づくりを行う。
- 毎月「第2木曜日」を「いじめ・いのちを考える日」、「第3木曜日」と「第4木曜日」を「なかよしタイム」とし、人権学習とも関連付けながら、全校放送や集会活動、縦割り班活動、道徳の時間、学級活動等を通して、多様性を認め、互いを尊重する温もりの心を培う。
- 教育相談、特別支援教育において、児童理解・児童把握に努め、きめ細かな指導に資する情報交換を行って個々のよさを認め合う学年・学級経営の充実に生かす。
- 児童の実態に応じた自立活動や共通実践ができる特別支援教育の支援体制を確立する。

目標に向かってあきらめず、たくましい心と体をもつ児童の育成

- 目標を持つこと、失敗を恐れずチャレンジすることの大切さを伝え、学習や生活、運動等、様々な活動に取り組みせ、あきらめずに取り組めたことを誉め励ましながらくましい心を育む。
- スポーツチャレンジ等、体を動かす楽しさや喜びを味わう場を仕組み、スポーツや運動に親しむ児童を育む。
- 食育・保健指導を充実させ、自分の体と向き合い、大切に自己管理能力を育む。
- 学校目標に沿って学級・学校をよりよくするために児童が活躍する委員会活動を仕組み、児童の思いや考えを引き出しながらくましい心と体をもつ児童の育成を育む。

家庭・地域との連携を図り、安全に安心して生き生きと活動できる学校づくり

- 家庭や地域、「春日まちづくり協議会」との連携を図り、地域の教育力「ひと・もの・こと」を生かした学習活動を展開し、児童の豊かな学びを充実させる。窓口を春日公民館にお願いし、地域連携活動一覧表をもとにしながら新たな取組を模索して、今年度も更なる連携を進める。
- 学校経営方針を作成し、PTA総会・学校HP等で保護者に説明し、協力・理解を得る。また家庭や地域への学校だよりを発行する。
- 学校・学年行事等の教育活動の状況や児童の様子を学校だよりや学校HP等で広報し、学校への興味・関心を高めるとともに、学校評価による改善を明確化させる。
- 保護者・地域と協力したボランティア活動(あいさつ運動やアルミ缶等回収)を展開する。
- 「朝ご飯」「テレビ・ゲーム」「家庭学習」「睡眠」等で子どもの学習や生活を振り返る「春日っ子振り返り」に取り組み、家庭での学習や生活習慣の向上をめざす。
- 生活面や学習面など生活全般における教育活動の基盤「春日スタイル」を年度ごとに更新し、学校・家庭・地域において年度初めに変更点や重点的に共有したい内容を確認し、児童の自主性・主体性の向上をめざす。